



# 目次



|                            |    |
|----------------------------|----|
| 安全上のご注意                    | 77 |
| 警告                         | 77 |
| ご使用になる前に                   | 78 |
| 梱包部品一覧                     | 79 |
| 各部の名称とはたらき                 | 79 |
| 夏時間設定について (DST)            | 81 |
| 時間帯 (Time zone)の設定         | 81 |
| 手動で時刻の設定                   | 82 |
| アラームの設定                    | 83 |
| FMラジオを聴く                   | 85 |
| Bluetoothスピーカーを聴く          | 86 |
| スリープタイマーを使う                | 87 |
| USB端子から外部機器への給電            | 87 |
| ディスプレイ輝度設定 自動調光および3レベル調光制御 | 88 |
| 2レベルLEDナイトランプ              | 88 |
| リチウム電池の交換について              | 88 |
| お手入れの仕方                    | 89 |
| おかしいな?と思ったら                | 89 |
| 製品保証について                   | 90 |

# 安全上のご注意





- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

|  |  |
|--|--|
|  <b>警告</b> | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。  |
|  <b>注意</b> | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。<br>(物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。) |




## 図記号の意味と例

|   |   |
|---|---|
|  | ⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左回の場合は、「分解禁止」を示します。)                     |
|  | ●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左回の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。) |

## 警告

|   |  |   |  |  |
|---|--|---|--|--|
| <br>禁止 | 交流100V以外では使用しない。<br>電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。<br>火災・感電の原因になります。                          | 雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。<br>感電の危険があります。   | <br>指示      | 電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。<br>失明や目に障害を負う恐れがあります。                               |
|   | 日本国内以外で使用しない。<br>本機は日本国内専用です。  | 本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。<br>本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。                               |  | 取りはずした電池の扱いに注意する。<br>幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。                  |
|   | 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。<br>火災・感電の原因になります。          | 温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。<br>火災・感電・故障の原因になります。             | <br>プラグを抜く  | 使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。<br>絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。                                    |
|   | 電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。<br>感電、ショート・発火の原因になります。                                    | ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。<br>炎が近づくと、火災の原因になります。  |  | お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。<br>感電・火災・けがの原因になることがあります。                                   |
|   | ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。<br>コードが踏んで首に巻きついたりして事故の原因になります。  | <br>使用禁止 | <br>分解禁止  | 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。<br>火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドワシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。            |
|   | 子供だけで使用させない。また幼児の手の届くところでは使わない。<br>けが・感電の原因になります。  |   |  |  |
|   | 本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。<br>感電・けがの原因になります。   | <br>指示   | <br>ぬれ手禁止 | ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。操作しない。感電の原因になります。  |
|   | 強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。<br>衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。 |   |  | <br>水ぬれ禁止 |

# ⚠️ 注意

|  |   |  |   |   |   |
|--|---|--|---|---|---|
| <br>禁止 | 次のようなところでは使わない。<br>●ガスコンロなど炭の近く<br>●引火性のガスがあるところ<br>●雨や水しぶきがかかるところ<br>●ほこりの多いところ<br>変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。 | <br>禁止        | お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・番き粉などを使わない。<br>変色・変形・感電・故障の原因になります。                             | <br>指示 | 廃棄するときは、電池を抜く。<br>そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。 |
|  | 熱のごもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。<br>キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。                       | 上にものをせたりしない。<br>内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。   | 音量に注意する。<br>使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。 |   |   |
|  | 不安定な場所・傾斜のある場所では使わない。<br>転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。   | 電池の極性に注意する。<br>電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。 | 接続に注意する。<br>本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。                           |   |   |
|  | 指定以外の電池を使用しない。<br>電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。   | ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って抜く。<br>感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。                    | 持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。<br>けが・故障や外部機器の破損の原因となります。                         |   |   |
| 電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。<br>液もれや破裂・火災などの原因となります。                                   | 長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。<br>長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。                                  |  |   |   |   |

## ご使用になる前に

### ボタン電池について

ボタン電池を扱うときには

- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
  - ・極性表示を間違えないで挿入する。
  - ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない
  - ・液漏れがおきたら使用しない。
- ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときは、ボタン電池を外しておく。
  - ・使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

### FM補完放送について

FM補完放送(ワイドFM)

- ・AM放送の放送区域において聴聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

- ※ FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

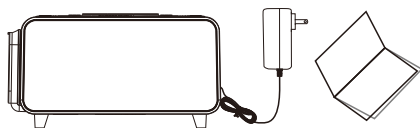
## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

※CKS718本体...1個 ※取り扱い説明書...1冊

※ワイヤレスを見る充電ホルダー...2個(2つの異なるサイズ)

※バックアップ電池(CR2032)動作確認用...1個(本体に装着済)

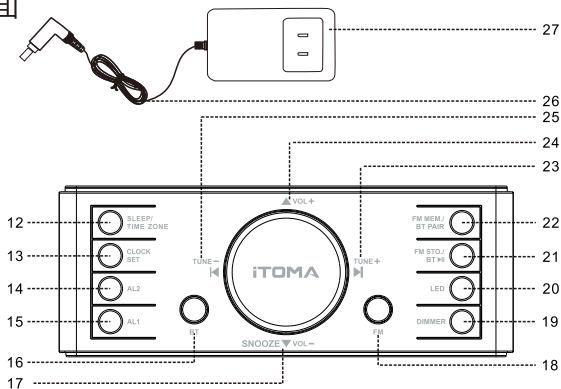


## 各部の名称とはたらき

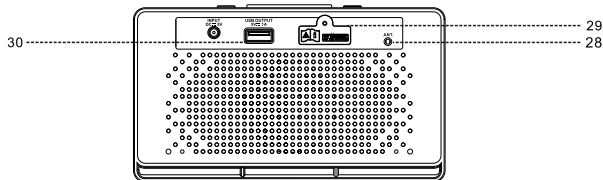
### 正面



### 天面



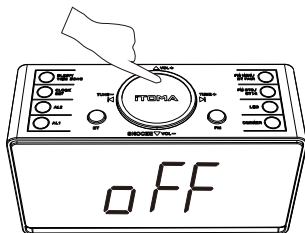
# 裏面



1. **🔊** (AL1 'ラジオ') アラーム1入/切表示
2. **🔊** (AL1「ブザー」) アラーム1入/切表示
3. **AM** 午前の表示(時間)
4. **PM** 午後の表示(時間)
5. **DAY OF WEEK** 曜日表示
6. **🔋** 内蔵電池の残量表示
7. **SLP** スリープタイマー表示
8. **MHz** ラジオ受信周波数単位
9. **BT** ブルートゥース接続表示
10. **🔊** (AL2 'ラジオ') アラーム2入/切表示
11. **🔊** (AL2「ブザー」) アラーム2入/切表示
12. **SLEEP/TIME ZONE** スリープタイマー設定
13. **CLOCK SET** 時刻設定
14. **AL2** アラーム2入/切/設定
15. **AL1** アラーム1入/切/設定
16. **BT ON/OFF** ブルートゥース入/切
17. **▼DOWN/VOL-/SNOOZE**  
(下/音量-調整/スヌーズ機能)
18. **FM ON/OFF** FMラジオ入/切
19. **DIMMER** ディスプレイ輝度設定
20. **LED** ナイトランプの入/切
21. **FM STO.(STORE)/BT▶II**  
ラジオ放送局プリセット設定  
/ブルートゥース接続時、音楽の再生  
一時停止をします
22. **FM MEM.(MEMORY)  
/BT PAIR**  
ラジオのプリセット局を選択します  
/ブルートゥースペアリングの解除
23. **▶TUNE+** ラジオ選局・時刻選定
24. **▲UP/VOL+** 上/音量+調整
25. **◀TUNE-** ラジオ選局・時刻選定
26. アダプターケーブル
27. AC アダプタ
28. FM アンテナ線
29. バックアップ電池ホルダー
30. USB 充電ポート

## 夏時間設定について (DST)

自国内に時差がある場合に設定するものです。(例: 米国、カナダ、ロシア等)  
以下のように各国の自動 DST (夏時間) にプリセットされています。



| 製品コード | ディスプレイ 表示 | エリア      |
|-------|-----------|----------|
| DE    | d EU      | ヨーロッパ    |
| NA    | d US      | アメリカ・カナダ |
| UK    | d En      | イギリス     |
| AU    | d AU      | オーストラリア  |
| CO    | d Co      | メキシコ     |
| JP    | d JP      | 日本       |

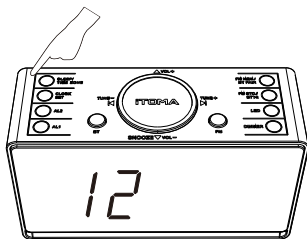
製品のリセット (工場出荷時設定) になると、製品は再利用する前に DST を設定する必要があります。この DST 設定は、時間設定で設定できます。時、分、月、日、年、12/24 時間制、DST の設定が可能で、以下の条件でしか使えない方法です。▲VOL+ ボタンを長押しして、DST ワード (OFF/d-EU/d-US/d-En/d-AU/d-Co/d-JP) が点滅し、この点滅中に [▲VOL+] ボタンを押して、国を選択します。(OFF は DST をオフにします。EU はヨーロッパを表します。US は米国またはカナダを表します。En は英国を表します。AU はオーストラリアを表します。Co はメキシコを表します。JP は日本を表します)

## 時間帯 (Time zone) の設定

時計モード時の初期設定

初めて電波時計を AC コンセントに接続すると、時計は自動的にデフォルトに設定されます。時刻が正しくない場合は、タイムゾーンと「◀/▶」ボタンを使用して簡単に時刻を調整できます。

表示されている時刻が現在の時刻と異なる場合は、手動ですばやく調整できます。



①「**TIME ZONE**」ボタンを長押しすると、HOURの桁が点滅します。

②◀または▶ボタンを押して時間を調整します。

注：タイムゾーンは、FMラジオとBluetooth機能が無効になっている場合にのみ調整できます。（「**MHz**」、「**BT**」はOFF）。

## 手動で時刻の設定

### 現在の年-日付-曜日-時刻設定の確認

現在時刻とカレンダーをチェックする「**CLOCK SET**」キーを短く押すごとに、「日付」→「年」→「時間」→「曜日」表示に戻ります。時間表示モードに戻すには、そのまま放置して戻します。

### 時刻の設定

①「**CLOCK SET**」キーを長押しすると、時刻が点滅します；

②この点滅状態の時に、「◀/▶」キーを押して設定します(ここで、**AM**表示'On'は午前、**PM**表示'On'は午後)；

③「▲/▼」ボタンを押して分を設定します；

12:38

### 日付の設定

④「**CLOCK SET**」ボタンをもう一度押すと、日付が点滅します；

⑤「◀/▶」ボタンを押して月を調整します；

⑥「▲/▼」またはボタンを押して日付を調整します；

4.16

### 年の設定

⑦「**CLOCK SET**」ボタンをもう一度押すと、年が点滅します；

⑧◀or▶ボタンを押して年を調整します；

2022

## 「時間表記」の設定

⑨「**CLOCK SET**」ボタンをもう一度押すと、ディスプレイには「24H」または「12H」のいずれかが表示されます；



⑩▲ or ▼ を押して設定します；

⑪「**CLOCK SET**」ボタンを押して時計モードに戻るまたは数秒待ちます。

**注意:** 12時間表示を選択し、時刻を設定する時は、「**AM/PM**」表示を注意しながら設定ください。

## アラームの設定

**重要:** アラーム設定は、スタンバイモードで、またはBluetooth、ラジオがオンのときでも確認および調整できます。

本機は2つの個別のアラームタイマーを設定することができます。(AL1=アラーム1)と(AL2=アラーム2)

アラームを使用して、2人を別の時間に起こしたり、1つのアラームを平日にもう1つのアラームを週末に使用したりできます。起床時間とアラーム週モードが正しく設定されていることを確認してください。

### アラームタイマーとアラーム音量の調整

設定方法は「AL1(アラーム1)とAL2(アラーム2)全く同じ方法です。

•AL1 または AL2 ボタンをディスプレイが点滅するまで押し続け、現在時刻からアラーム1 またはアラーム2 のアラーム時刻に変更します。

•AL1 (AL2) ボタンを放し、◀or▶ボタンを押して時間を調整し、または▲or▼ボタンを押して分を設定します。

•もう一度**AL1/AL2**を押し、VOL-またはVOL+を押してアラーム音量(**V01-V15**)を調整します。

もう一度**AL1 (AL2)**ボタンを押してから、**TUNE +/TUNE-**ボタンを押して目覚ましモードを調整します。

•**AL1 (AL2)**ボタンをもう一度押すと、アラーム設定が保存されます。

**注意:** AM/PM表示があるかどうか、ディスプレイを確認してお願いします。

**AM表示 'On':** アラーム時間は午前 **PM表示 'On':** アラーム時間は午後

### アラーム起動モードを選択

本機はアラームごとに4つの起動モードから選択できます

•**毎日** - アラームは7日間すべてオンになります

•**平日のみ** - アラームは月曜日から金曜日までのみ起動します



• **週末のみ**- アラームは土曜日と日曜日にのみ起動します

• **単独曜日指定**- アラームは希望する日にオンになります。

• 7つのインジケータすべてが「オン」の場合、毎日モードが選択されています。

• MON (月曜日) から FRI (金曜日) インジケータのみが「オン」の場合、平日のみモードが選択されます。

• SAT (土曜日) と SUN (日曜日) インジケータのみが「オン」の場合、週末のみモードが選択されます。



## アラームタイマーとアラーム起動モードを確認

L1 / AL2ウェイクアップ時間と目覚まし週モードを確認するために、3秒後に時計時間に戻ります。

## アラーム音の選択するとアラームの入/切

アラーム音の選択はアラーム設定に使用したAL1 (AL2) ボタンに押す毎に、この順序になります。「ブザー音」(🔊マークを表示) → 「ラジオ音」(📻マークを表示) → アラーム切 (ブザーマークとラジオマークを消えます)

## スヌーズを使う方法

• 「スヌーズ (SNOOZE) キー」を押して、アラームを停止します。

• #SNOOZEは「休眠」の意味合いから、再度復帰します。

• 一度押すと一旦、アラームは停止しますが、9分後に復帰してアラーム音が鳴ります。

• このスヌーズ (SNOOZE) モードの場合、ベルマークあるいはラジオマークが点滅します。

注意: スヌーズモードをオフにするには、オン/オフ、AL1 (AL2) ボタンのいずれかを1回押します。次のアラームタイマーになるまで、アラームは再び鳴りません。仮に、その場に居合わせず、アラームを解除できない場合は、1時間後に自動でアラームが停止します。



## Fmラジオを聴く

- アンテナ線を完全に伸ばして、FM 受信が良好になるように向けます。
- **FM ON/OFF** ボタンを押して、スタンバイモードからオンにします。
- **VOL +** または **VOL -** ボタンを押して、好みの音量に設定します。
- ラジオを聞き終わったら、**ON/OFF** ボタンを押してラジオを「OFF」にします。その後、**MHz** インジケータが消えます。

**注意:** ワイヤレス充電中は、FM ラジオは消音モードになります。(充電パッド上のデバイスが取り外されるまで) 必要に応じて、ラジオを聴きながら有線USB充電をご利用ください。

### TUNING コントロールで希望の放送局を受信します:

**TUNE + / TUNE -** ボタンを短く押すと、受信周波数が1段階ずつ増減します。

**TUNE + / TUNE -** ボタンを3秒間押し続けてから放します。放送局を自動検索します、受信可能な放送局が見つかるまで受信周波数が自動的に増減します。



### 放送局のプリセット設定とプリセット済局を選ぶ

お気に入りのラジオ局がいくつかある場合、それらを特定のメモリ場所に保存しておけば、毎回検索する必要がなく、数秒でその中から1つを選択できます。当社のデジタルチューニングテクノロジーにより、以下の手順でこれを簡単に実行できます:

#### 放送局のプリセット設定

- **FM ON/OFF** ボタンを押してラジオをオンにします。(MHz インジケータが表示)。
- 「**TUNE-**」または「**TUNE+**」を押して、希望の放送局に選局する。
- **FM STO.** を長押しします。ボタンを(2秒間)「P XX」が点滅し、現在選局中の放送局を保存するメモリ位置を示します。
- 「P XX」が点滅しているときに、**TUNE +** または **TUNE -** ボタンを押すと、メモリー位置を1から20に変更できます。(たとえば、「P 03」は、現在の聴いている放送局が記憶)
- メモリー位置を決めたら**FM STO.**を押します。ボタンをもう一度押すと、現在聴いている放送局がそれに応じて保存されます。
- ディスプレイに放送局の周波数が表示され、数秒後に現在時刻に戻ります。

## プリセット済局を選ぶ

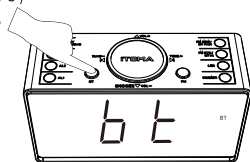
- **FM ON/OFF** ボタンを押してラジオをオンにします。(MHz インジケータが表示)。
- **FM MEM.** ボタンを押すと、ディスプレイに「P XX」が表示され、メモリー位置の放送局が選局されます。
- **FM MEM.** ボタンまたは TUNE + / TUNE - ボタンを繰り返し押すと、メモリー位置が 1 ~ 20 に変わり、メモリー位置を選択してすべてのボタンを離すと、その場所に保存されている放送局が選局されます。
- ディスプレイには放送局の周波数が表示され、数秒後に現在時刻に戻ります。

### 自動プリセットするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態できるようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにしてください。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。

## ブルートゥーススピーカーを聴く

- **BT ON / OFF** ボタンを押して、Bluetooth をオンにします。(ペアリングの場合、**BT** インジケータが「点滅」)
- Bluetooth デバイスを有効にして、利用可能な/ペアリングされたデバイスリストから CKS718 を選択します。ペアリングが成功すると、本機がプロンプトを表示し、**BT** インジケータが点灯します。
- 本機とのペアリングに成功した Bluetooth 機器であれば、自動で接続できます。

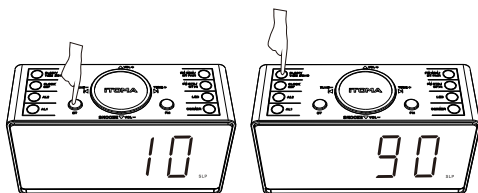


- ペアリング後、この Bluetooth スピーカーから音楽を再生できます。
- **BT▶||** ボタンを短く押すと、Bluetooth デバイスでのストリーミング再生を一時停止または再開できます。

**注意:** ペアリングに失敗した場合、以前にペアリングされたすべての Bluetooth デバイスは、プロンプトが表示されるまで **BT PAIR** ボタンを長押しするか、Bluetooth 接続をオフにして、デバイス間の自動再接続を避ける必要があります。次に、このユニットを Bluetooth モードに設定し、携帯電話/デバイスの Bluetooth スイッチをタップしてもう一度オンにして、近くの CKS718 を更新/検索してペアリングします。

## スリープタイマーを使う

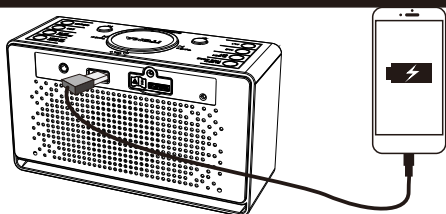
BT / FMラジオをオンにした後、SLEEPボタンを押します。  
画面スリープタイマーが表示されます。



- SLEEPボタンを押します。ディスプレイにスリープタイマーが表示されます。
- SLEEPボタンを繰り返し押して、希望のスリープタイマー（10～90分またはOFF）を選択します。

**注:** スリープタイマーを10分のデフォルトのタイミングから別の設定に変更すると、この新しい設定がデフォルトのタイミングになります。カウントダウン中にスリープタイマーを表示するには、SLEEPボタンを押してください。カウントダウン中にスリープタイマーをキャンセルするには、ディスプレイに「OFF」と表示されるまでSLEEPボタンを押します。

## USB端子から外部機器への給電



この時計付きラジオの背面には1つのUSB充電ポートがあり、このポートは、USBケーブル（付属していません）を介してスマートフォンやタブレットなどのデバイスを充電するために最大5V1Aを供給できます。

※ **本機のUSB端子はメディアプレーヤー機能はありません。**

### 誤使用によるUSB端子に関する免責事項

1. 本製品の使用・使用できなかったこと等から生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関しては弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第3者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関しては弊社は一切責任を負いません。

## ディスプレイ輝度設定 自動調光および3レベル調光制御

ディスプレイ表示をお好みの明るさに変えることができます。

### 手動で変えるス

タンバイモードで **DIMMER** ボタンを押すと、3つのレベルのいずれかを選択できます。

### 自動調整機能

「-AU-」が表示されるまで **DIMMER** ボタンを繰り返し押しします。周囲の明るさに合わせて自動的に明るさを変えます。**DIMMER** ボタンを手動で押す必要なく、明るすぎて、睡眠の妨げにならないような明るさに自動調整します。

(Bluetooth、ラジオ、まがオンのときにも調整できます)。



## 2レベルLEDナイト

本機には、明るさが2段階調整可能なナイトランプが本機底面に設置されています。**LED** ボタンを押して夜間 **LED** をオン (高/低レベル) またはオフにします。

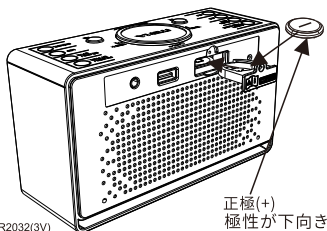
## リチウム電池の交換について

### 電池交換のしかた

- 1 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- 2 バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- 3 電池面上側が⊖のまま電池の端を押し込んで電池をはずし、逆の方法で電池をホルダーにはめ込む
- 4 バックアップ電池ホルダーを本機に差し込み、固定用ネジを取り付ける



電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。



正極(+)  
負極(-)

☐ 低バッテリー インジケーターが点滅したら、リチウムバックアップバッテリーを交換する必要があります。そうしないと、停電後に時刻とアラームの設定が失われる/リセットされます。

## お手入れのしかた

**⚠ 警告** お手入れの際は、必ず電源プラグ（ACアダプター）を取りはずす  
感電・火災・けがの原因になります。

**お手入れ** ※汚れたときは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。ディスプレイやボタン部分の汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）

**保存のしかた** ※長期間使用されないときは、十分にお手入れをして、ボタン電池を取りはずして保存してください。

**⚠ 注意**

- ベンジン・シンナーでは拭かない。変色や変形の原因になります。
- 本体に水をかけたりしない感電・故障の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。変色・キズの原因になります。

## おかしいな?と思ったら

**⚠ 警告** 修理技術者以外の人は分解や修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

| 症状                           | 主な原因                           | 処置                      |
|------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| <b>共通部</b>                   |                                |                         |
| 電源が入らない<br>ディスプレイが表示<br>されない | • ACアダプターがはずれている               | ACアダプターの接続を確認する         |
| スピーカーから音が出ない                 | • ③SOURCEモードキーで目的のモードに設定されていない | 目的のモードに切り替える            |
|                              | • 音量が最小になっている                  | 音量を調節する                 |
| 時計がリセットされる                   | • バックアップ電池が消耗している              | 新しい電池に交換する              |
| 正常な動作をしない                    |                                | 一度電源プラグを抜いて接続しなおす       |
| 音が小さい<br>音がひずむ               | • 外部機器が正しく接続されていない             | 外部機器の取扱説明書を確認して、正しく接続する |
|                              | • 接続している機器の音量が小さい、または大きい       | 接続している機器の音量を調節する        |
| <b>ラジオ部</b>                  |                                |                         |
| 雑音が入る                        | • テレビなどが近くにある                  | テレビなどから離す               |
|                              | • 電波状態が悪                       | 窓際などで試してみる              |
|                              |                                | FMアンテナの長さや方向を変更してみる     |

## 製品保証について

下記商品は、弊社商品であることを証明いたします。  
6ヶ月間の限定条件付き保証期間となります。期間内に故障が生じた場合には、  
当社の判断と規定に基づき、製品交換あるいは無料で修理いたします。

### <保証規定>

1. お買い上げ日から6ヶ月の期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で使用し故障した場合は  
当社の判断で、製品交換あるいは修理致しますが、お買い上げ証明(レシートや領収書など)と  
販売日が記載されているもののみ有効とさせていただきます。
3. 次の場合は上記期間内でも対象外となります。
  - ・使用方法の誤りによる故障及び損傷
  - ・改造や不当(当社以外の第3社による)修理による故障及び損傷
  - ・業務用または過酷な条件下で使用した場合の故障及び損傷
  - ・お買い上げ後の落下、輸送などによる故障及び損傷
  - ・火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害または異常電圧などの  
外部要因による故障及び損傷
  - ・購入証明が本人ではなく、また書き換えられた場合
  - ・消耗品を交換する場合
  - ・腐食による損傷および故障
  - ・内蔵電池の液漏れによる、損傷や故障
  - ・一般家庭以外(例えば業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の  
故障および損傷

本書は日本国内においてのみ有効です。本書は再発行いたしません。紛失、破損が  
ないように大切に保管してください。保証期間経過後の修理は有料となります。

連絡先: iToma (Hongkong) Company Limited  
info@itoma.com